

運搬材が足に落下し骨折した



対策: リスクアセスメント活動実施!

工場の物品の移動、搬送は自動化・システム化の進展が著しい分野ですが、依然として製造業や運送業のみならず第3次産業分野での人力荷役作業に伴う災害の発生が見られます。

この事例では台車にプレス用鋼材を積んで搬送中に、積み荷の一部が台車を押していた作業者の足元に落下し、親指骨折災害事故となりました。

<原因>

- ① 鋼材の積みこみ方に荷崩れ対策がされていなかった。
- ② 作業者は安全靴を履いていなかった。
- ③ 作業者は安全作業の教育を受けていなかった。

<対策>

- ① 台車に荷崩れ防止の囲いを付ける。
- ② 作業者に安全靴の着用を義務付ける。
- ③ 台車運搬の安全作業標準を教育する。

此の災害事故は労働者の作業行動が原因となる「行動災害」で製造業だけでなく3次産業でも起こりうる災害で、第12次労働災害防止計画でも災害防止対策のポイントとして次の事項を提案されています。

- ① 安全衛生教育の充実、適切な作業手順の徹底

- ② 「安全宣言」の実施等による安全意識の高揚
- ③ 「行動災害」防止に向けた協議会の開催

更に災害発生事業場にたいする **リスクアセスメント手法を用いた再発防止対策指導の徹底**、安全衛生管理者の職務の徹底、安全・衛生委員会の活動の強化が望まれています。

また、最近建設業現場等では、作業開始前に、全作業者を含めての、リスクアセスメントを組み入れた危険予知活動（RA+KY）を実施して成果をあげています。

東京技能者協会/日本労働安全衛生コンサルタント会東京支部では、皆様方の事業場への(RA+KY)の導入等を支援していますので、御相談下さい。

以上

《日本労働安全衛生コンサルタント会東京支部 / 東京技能者協会》